

令和5年度

9月補正予算の概要

令和5年9月
防 府 市

○補正予算編成の考え方

今後の災害に迅速に対応するための災害対策関連予算、また緊急を要する物価高騰・人手不足対策、子ども・子育て支援等の予算を計上する。

なお、早期着手が必要な災害対策関連予算（議案第62号）とその他（議案第63号）に分離する。

補正予算の規模

事業規模	720百万円
歳入歳出予算	620百万円
（※予備費100百万円を活用）	
債務負担行為	502百万円

【議案第62号分】

○災害対策関連事業

129百万円

7月豪雨により被災した河川等の復旧工事を実施するとともに、きめ細かな降雨情報を把握するため新たに雨量計を設置します。また、今後の災害発生に備え災害復旧枠を設定します。

▼災害復旧費 26百万円

河川（2箇所）、道路（1箇所）、文化財（2箇所）

▼雨量計設置 3百万円

周辺地域に設置（富海公民館、小野公民館、大道公民館）

▼災害復旧枠 100百万円

【議案第63号分】

<物価高騰・人手不足対策>

予備費を活用し市内事業者等の生産性向上に向けた取組を前倒して支援するとともに、運転手の確保に取り組むトラック事業者等を支援します。

○市内事業者等生産性向上設備導入緊急支援事業

100 百万円

物価高騰や人手不足に対応するため、生産性の向上につながる設備の導入に取り組む市内事業者等を支援します。

※繰越明許費を設定

〔対象事業者〕 中小企業、小規模事業者、農家等の個人事業主
介護サービス事業者、保育事業者 など

〔対象設備〕 省力化ロボット、自動食品下処理機、自動包装機、
製造ラインで用いる重量選別機 など

〔補助率〕 対象事業費の2/3

〔補助額〕 上限100万円

○運転手確保緊急対策事業

30 百万円

喫緊の課題である2024年問題に直面し、運転手の確保に取り組むトラック事業者等を支援します。

〔対象事業者〕 トラック、バス、タクシー、運転代行業者

〔支援金〕 運転手一人当たり20万円

※新たに採用し免許を取得させる場合は一人当たり30万円

〔対象期間〕 令和6年3月末まで（令和6年4月採用を含む）

(参考)

低燃費タイヤ導入支援事業については、受付期限を令和5年11月末から令和6年3月末まで延長します。

<子ども・子育て支援>

医療費助成制度の拡充に向け、システムの改修を行うとともに、小・中学校のトイレ洋式化を行います。

○子ども医療費無償化対応事業

4百万円

子ども医療費助成制度の対象拡充に向け、資格情報等を管理するシステムの改修を行います。

[拡充内容] 対象を「小学生まで」から「高校生まで」に拡充

※拡充後も所得制限なし

[開始時期] 令和6年10月からを予定

○小・中学校トイレ洋式化事業

456百万円

(うち令和5年度整備費：176百万円、うち基金積立金：280百万円)

令和7年度までに全ての小・中学校のトイレの洋式化を行うこととし、令和5年度は小学校1、2年生分の整備を行います。

また、令和6、7年度に必要となる一般財源について、公共施設等整備基金へ2.8億円の積立てを行います。

	トイレ数	事業費	財源内訳		
			国庫	地方債	一般財源
全体計画	500基	806百万円	174百万円	261百万円	371百万円
令和5年度	100基	<u>176百万円</u>	34百万円	51百万円	91百万円
令和6・7年度	400基	630百万円	140百万円	210百万円	<u>280百万円</u>

<その他>

○インボイス制度相談体制の充実

1百万円

10月から導入されるインボイス制度に対応する相談窓口をコネクト22に設置し、税理士等による相談を受け付けます。

<債務負担行為>

○新庁舎関連事業

新庁舎での令和7年1月からの業務開始に向け、備品の購入や引越しのための債務負担行為を設定します。

- ・庁舎備品整備（令和5年度～令和6年度） 440百万円
- ・庁舎移転事業（令和5年度～令和6年度） 62百万円

補正予算の財源内訳

事業規模	720百万円	}	補正額 620百万円
国庫支出金	45百万円		
地方債	131百万円		
その他	13百万円		
一般財源	431百万円		
予備費の活用	100百万円		